

黒板の色彩検査

用語について

■ 色相

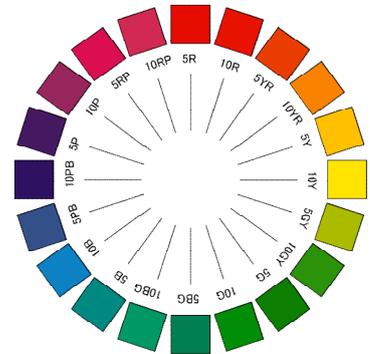
色合い。

基本色と中間色を10種に分けて下記のようにアルファベットで表す。



R (赤)・YR (黄赤)・Y (黄)・GY (黄緑)・G (緑)・BG (青緑)・B (青)・PB (紫青)・P (紫)・RP (赤紫)の10種

さらに、度合を0～10にわけてその数字を頭に付ける (例=5GY など)



■ 彩度

色の鮮やかさ。0は色のない無彩色、鮮やかな色彩ほど彩度(数字)は大きくなる。色相と明度によって最大の数字は変化する(10～14)

■ 明度

色の明るさ。0は真黒。10は真白。

その中間は、灰色であるが最も薄い灰色が9となる。



■ 色彩の表記《マンセル値》

Hv/c (色相・明度/彩度)

(例) 7.5GY4/3 の場合

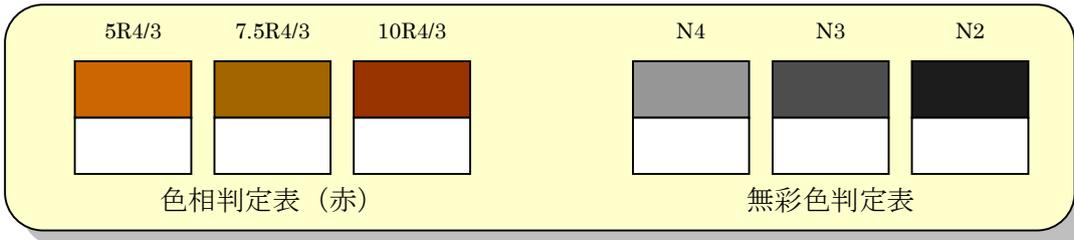
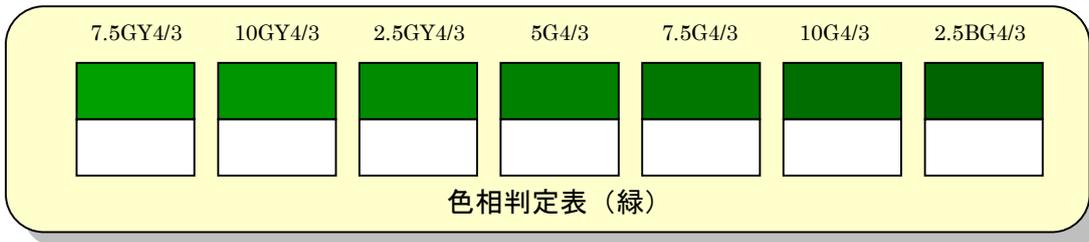
7.5GY=色相: 黄緑、度合 7.5

4/3=明度 4/彩度 3

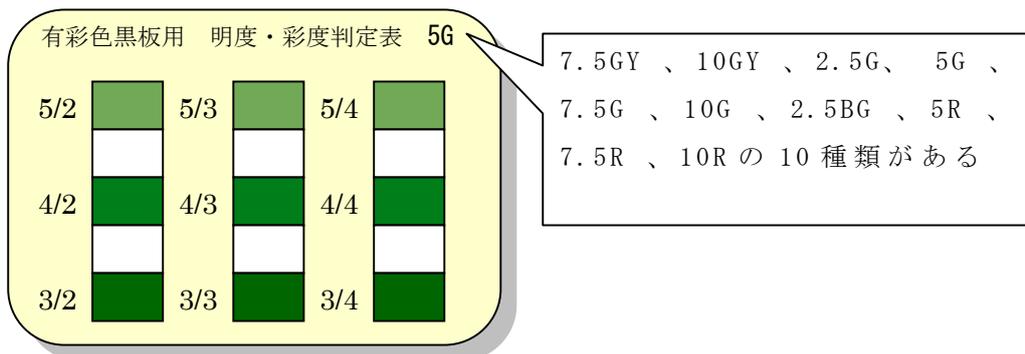
読み方=7.5 ジーワイ 4 の 3

※実際の検査では、色相・彩度・明度を分解することはできないので、後述するように、判定表と黒板の色を比較して決定することになる。

黒板検査用色表の構成



※黒板の色に合わせた、判定表を用いて色相の判定を行う

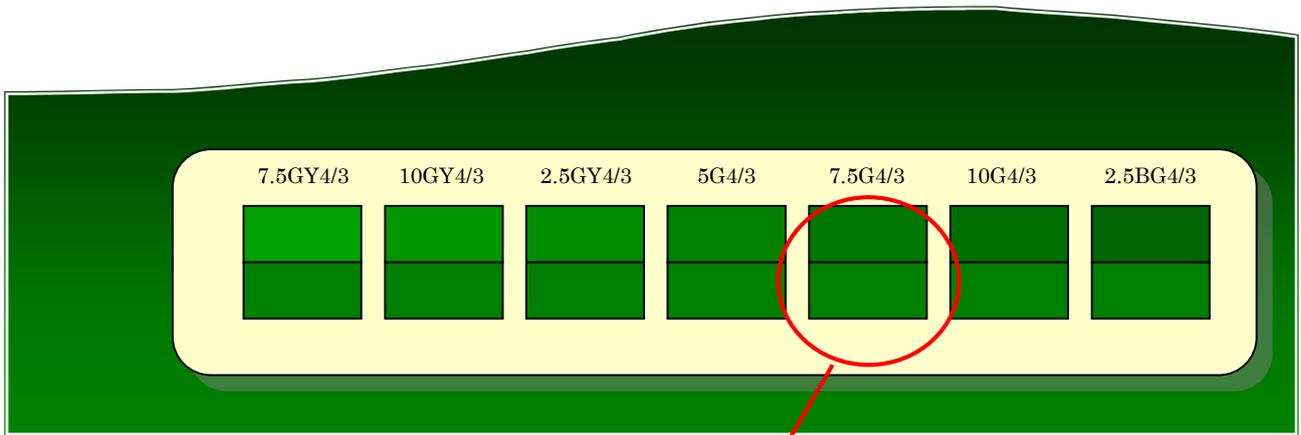


※判定した色相の明度・彩度判定表をもちいて、明度と彩度を判定する

検査の方法（色相）

(1) 色相の判定

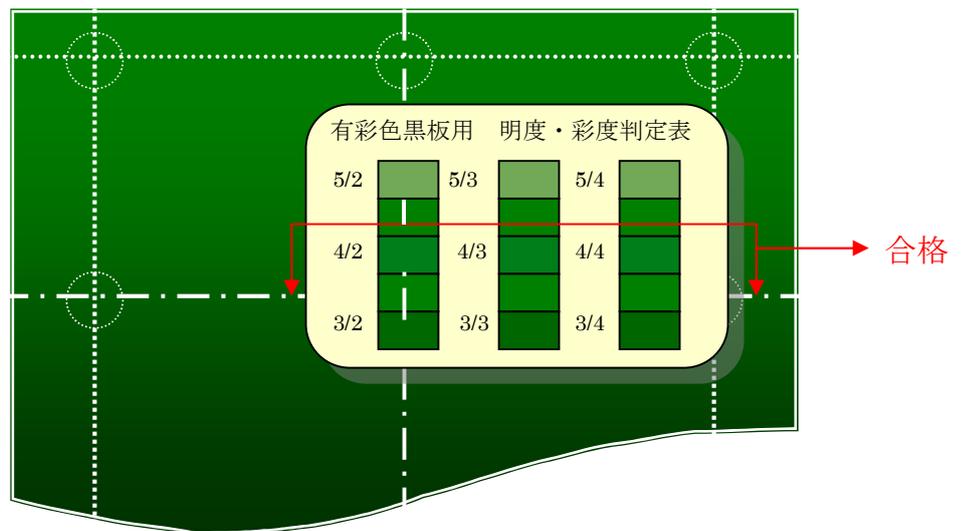
- ① 黒板には、無彩色（黒色）と有彩色（緑色、赤色）があり、明度・彩度を判定するためには色相を判定する必要がある。
- ② 色相判定表を用いて黒板の色相判定をします。（例は有彩色（緑色の黒板の場合））
- ③ 黒板面の最も濃い所に判定表をあて、判定表にある色と穴の中に見える黒板色を比較し最も近い色票の記号を読み取る。



例=7.5G4/3 が最も近い色相となる
 (明度・彩度が異なるので、ここでは色相のみを注視する)

検査の方法 (明度・彩度)

色相判定で選択した色相に相当する「有彩色黒板用明度・彩度判定表」
 (例の場合は=7.5G)を使い、指定された黒板面の9箇所を判定する。
 (箇所の詳細は、黒板面の色彩検査報告書を参照)



判定基準

黒板面の色彩

- ・ 有彩色の黒板面の色彩は、1箇所でも明度が4を超えないこと。彩度は4を超えないこと。
- ・ 無彩色(黒色)の黒板面の色彩は、1箇所でも明度が3を超えないこと。

事後の処理

判定基準を超える場合は、板面を塗り替えるか、又は取り替える等の適切な措置を講ずること。